

森林竹林の適正管理とフィールドの有効活用



街なかにほど近い、自然環境が豊かな立田山。令和4年(2022年)に開催された『くまもと花博』では、メイン会場の一つになり、来場いただいた多くの方に自然豊かな立田山を知っていただきました。そのレガシーを受け継ぎ、森林等の継続的な維持管理をはじめ、資源および自然を活かした体験プログラムを行っていきます。



事業名

タケノコ掘体験

基本方針:①守る③活かす 時期:R5~



目的 土砂災害、倒竹災害の防止
山での収穫体験
インシシ棲息拠点の減少

内容 竹林管理の必要性・竹林整備および管理の手法の講習
市民参加によるタケノコ掘体験

場所 立田山憩の森内の竹林
(五高の森付近⇒竹林整備に合わせ、実施エリアを順次拡大)

分担 講師(熊本県森林インストラクター協会)
参加者募集(行政) 鎌・手鋸等、収穫資材(森林組合)

事業名

自然観察会

基本方針:①守る 時期:R5~



目的 自然環境の保全意識の向上
生態系のモニタリング

内容 野鳥や昆虫、植物等の観察(季節ごとに移り変わる動植物の観察)
学校行事等への自然観察講師の派遣

場所 立田山お祭り広場、五高の森等

分担 実施内容の企画・運営(各団体)
参加者募集(各団体、市HP等)※各団体の活動情報広報の協力
自然観察講師の紹介(行政)

実施団体 立田山自然探検隊
日本野鳥の会熊本県支部
熊本県森林インストラクター協会
熊本県シェアリングネイチャー協会

事業名

竹チップ防草対策

基本方針:②育む③活かす 時期:R5~



目的 植栽帯の防草材としての活用
輻射熱の軽減等による都市環境の改善
生態系の連続性確保(エコロジカルネットワーク)

内容 間伐竹材を粉碎、チップ化
道路植栽帯や公園内園路等の雑草対策

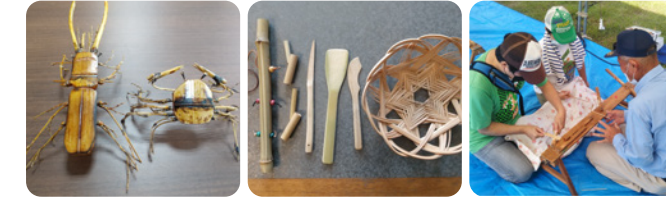
場所 北区市道沿い植栽帯※試験実施
⇒順次実施箇所を拡大

分担 竹林間伐・チップ化(行政)

事業名

竹細工づくり体験

基本方針:①守る③活かす 時期:R5~



目的 土砂災害、倒竹災害の防止・竹林整備等に関する知識の普及
ものづくり体験を通じた森林環境教育
インシシ棲息拠点の減少

内容 竹林管理の必要性等の講習
竹細工づくり体験の実施

場所 立田山周辺小学校等
お祭り広場、多目的広場

分担 講師(老人会・エコ村伝承館・(一社)くまもと工芸協会)
材料提供(行政)

事業名

間伐材モビリティプランター

基本方針:②育む③活かす 時期:R6~



目的 間伐材の有効活用
緑を感じられるまちなみ景観の形成

内容 立田山の間伐材を活かしたプランターの設置

場所 中心市街地等

分担 樹木間伐(行政)
製材加工・組立(行政)

事業名

森の音楽会

基本方針:③活かす 時期:R5~



目的 森の中での癒しを体感
子供たちの練習の成果披露

内容 プロの演奏家や子供たちによる森の中での音楽会の開催

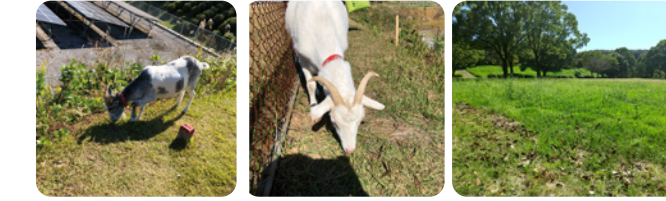
場所 立田山お祭り広場木製ステージ

分担 出演依頼・機材運搬・音響設備設置(民間)
演奏会出演
(立田山周辺幼稚園・小学校等)

事業名

ヤギ除草

基本方針:①守る③活かす 時期:R6~



目的 除草作業に係る維持管理の新たな取り組み

内容 放牧エリア・期間を限定した、
ヤギによる除草

場所 立田山多目的広場

分担 柵・小屋等飼育設備設置(行政)
ヤギ賃借・飼育管理(行政)

事業名

間伐体験

基本方針:①守る④繋げる 時期:R6~



目的 森林管理の必要性に関する意識啓発

内容 森林が持つ役割や、適切な管理の必要性の学習
市民参加による伐木体験

分担 講師手配(行政)
参加者募集(行政)
作業資材(森林組合)

事業名

健康アプリを活用したウォークラリー

基本方針:④繋げる 時期:R5~



目的 健康増進
立田山の魅力発見

内容 熊本健康ポイント事業のアプリ
「もっと健康!げんき!アップくまもと」内の機能を使用し、
立田山エリアの散策コースを設定

場所 立田山憩の森観察コース

分担 コース設定・アプリへの登録・広報(行政)

事業名

木製遊具の設置

基本方針:③活かす 時期:R5~



目的 子供たちが遊びながら、
立田山を散策できるコースづくり

内容 老朽化のため撤去した
遊歩道沿いの遊具を一部再設置

分担 遊具設置(行政)

事業名

自動販売機設置

基本方針:①守る④繋げる 時期:R5~



目的 遊歩道散策利用者の水分補給
収益の維持管理費への還元

内容 自動販売機の新規設置

場所 立田山お祭り広場トイレ横

分担 自動販売機設置(行政)
電気設備改修、電気代支払い(行政)

事業名

自然環境保全啓発・健康増進イベント

基本方針:①守る④繋げる 時期:R5~



目的 民間主体による継続的な
立田山でのイベント開催

内容 自然環境保全啓発イベント・健康増進イベント等

場所 お祭り広場、多目的広場

分担 利用の手引き策定(行政)
イベント企画・運営・実施(民間)